

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 014	提案機関名 水源環境保全課
<b>要望問題名</b> 抵抗性マツの生産について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 県では、森林資源及び県民の生活環境として重要な松林の保全を図るため、将来にわたって保全すべき松林及びその松林に大きな影響を及ぼす周辺松林を特定し、集中的かつ継続的に松くい虫被害対策を講じております。 平成20年度からは、これまで行ってきた駆除等の対策に加え、マツが枯れた箇所へ、マツノザイセンチュウに抵抗性をもつマツ(以下、「抵抗性マツ」という)の苗木を植栽し、被害に強い松林へ誘導する事業に対しても助成を行い、松林の保全・再生の促進を図っております。 現在、抵抗性マツの苗木は、県内で生産されていないため、静岡県等他県から購入しておりますが、東日本大震災以降は、震災被災県を中心として抵抗性マツの苗木の需要が高く、全国的に苗木不足となっていることから、本県においても苗木の確保が困難な状況となっております。 つきましては、本県における抵抗性マツの苗木の安定的な確保のため、県の気候、風土に適した県内での抵抗性マツの生産に向けた課題設定を要望します。 具体的には、自然環境保全センターにおいて、すでに始められている抵抗性クロマツ採種園の設置等の取り組みに加え、抵抗性マツの生産のための検定方法である、マツノザイセンチュウの接種検定の実施に向け、試験研究、苗木生産者への技術支援を要望します。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
電話番号	046-248-0321	FAX番号	046-247-7545
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 特定林木育種事業、林木育種維持管理事業		
対応の内容等	県内抵抗性マツ採種園で採取した抵抗性マツの苗木生産に当たっては、マツノザイセイチュウの接種検定をおこなうことにより抵抗性の確認ができます。県内ではまだ取組の事例がないため、国や他県機関の協力を得ながら、ザイセイチュウの培養や接種技術の修得に努め、林業普及指導事業の協力により研修実施することで普及を図って行く予定です。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			